

平成28年7月24日に、太田市・アルカディアとしても初の試みとなる、3障がい者が一堂に会して『障がい者が安心して暮らせる街づくりを市民とともに考える』をテーマとしたシンポジウムを開催しました。ふらっとピアサポーターとして3名の方に発言をしていただき、シンポジウムの場で思い・感じたことを今号のふらっとのニュースレターで記載します。

Aさん

(シンポジウム)：3障がいの中でもお互いに知らない部分を知れてよかった

(ミニ座談会)：話しの中で、年を取ることが不安という内容があったが、これは1つ大きなポイントだと思った。

将来の事を考えると、この不安を抱えている人は多いと思う



(全体を通して)

福祉の仕事に係る人が多かった気がした。市民の方にもっと広く伝えるべきだったし、知ってもらいたい

市民として、障がい者、健常者関係なく知らない部分の生活を知ることができて勉強になった。自分の生活にも活かせることが聞けたし話せた

Bさん

(シンポジウム)：地域で暮らしていく中で、生活環境の違いがあることを知れてよかった

(ミニ座談会)：会話・討論形式の座談会なら、もっと色々な話ができただろうかもしれない

もっと深いぶつちやけた話をすると、聞いている人にもイメージが湧くのではないかと



(全体を通して)

このシンポジウムで、あの場で発言できて良かった。ただ、もっと市民の方に聞いてほしかった。3障がいの方が、地域でどんな生活をしているのかを知ってほしかったし、市民の方が思っている障がい者のイメージをいい意味で壊したかった

地域で生活する中で、市役所では色々な課と関わっている。市長さんや市役所職員の方が聞きに来てくれてよかったと思うが、

もっと多くの課の職員に聞きに来てもらいたい

Cさん

(シンポジウム)：3障がいについて、自分の知らない生活部分で当事者の話が聞いて良かった

(ミニ座談会)：当事者同士で互いの生活や思いについて、言いたいことを言えていたと思う

(全体を通して)

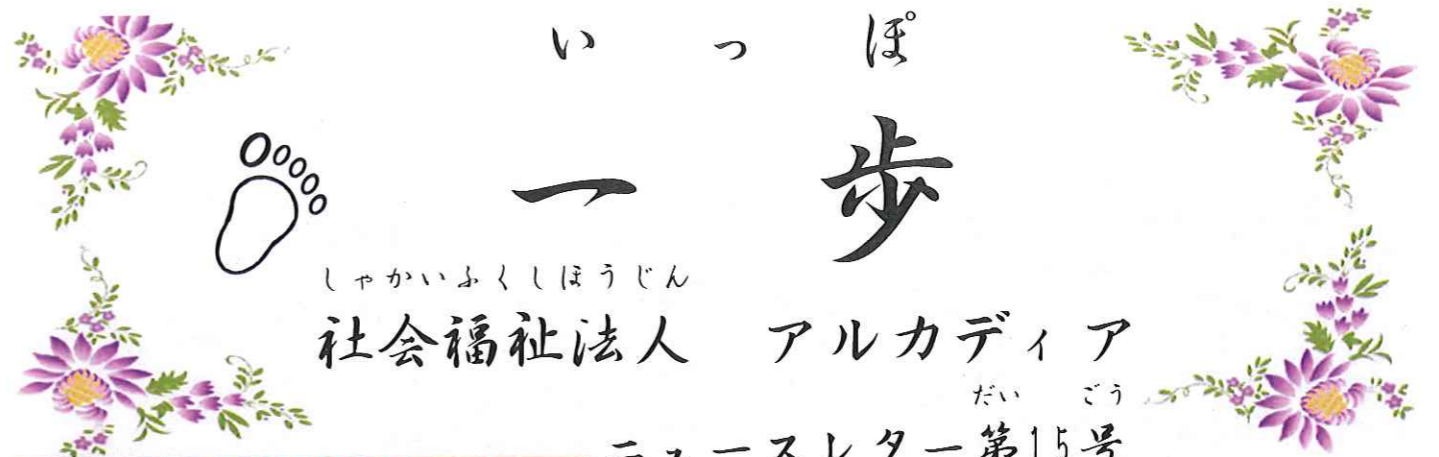
市長さんが聞きに来てくれたことに、とても意味があったと思う



精神障がいに限らず、3障がいについて市民の方がもっと具体的なイメージを持ってもらえるように話したい

国の政策の現状、障がい者が地域で暮らす中での現状を知ってもらわなければならないと思う。そのなかで地域住民・市民の方と

話し合い、ともに考えることができれば良いと思う



しゃかいふくしほうじん

社会福祉法人 アルカディア

だいごう

ニュースレター第15号

へいぜい ねん がつはつかん

平成28年8月発行

はっこうもと

へんしゅういんかい

発行元：ニュースレター編集委員会



ショートこらむ

シンポジウム「障がい者が安心して暮らせる街づくりを市民とともに考える」を開催するに当たって、より有意義なシンポジウムにしていくには、どうしたら良いのか・・・を考えた時、私の中には明確な答えがなかった。何故なら、安心して暮らせるとは人それぞれであり、人それぞれの価値観から決めていくものであるからだ。安心とは何なのか改めて考えてみると、自分らしく生きていられること、衣食住に不安がないこと、人と繋がりを保っていること等色々あるが、だからこそ、敢えてそれを題材にしたシンポジウムを開催することに意義があるのではないかと。実際にシンポジウムをやってみて、当事者の生活が地域住民からは見えづらい部分が多いことが浮き彫りになり、情報発信をしていくことの重要性を見出す結果となったことは大きな収穫だった。生きづらさを抱えている人達が、地域で生活することに不安を感じず安心して暮らせる社会を作る上で地域住民にどのように情報発信していくかが今後の課題となる。

えんごりょう つのだ うちうみ 援護寮はばたき 角田・内海

おたししょう しゃそくだんしえん おたしやくしよない 太田市障がい者相談支援センター(太田市役所内)

そくだんしえんじぎょうしょ 《アルカディア相談支援事業所》

相談支援センターでは、身体障がい者・知的障がい者・身体障がい者の当事者の方や、そのご家族を対象に、みなさまが地域で安心して生活できるように必要な福祉サービス利用のお手伝いや、その方の障がいに応じた施設や専門機関などの紹介、日常の困りごとの相談等を行っています。

《相談時間》 月曜日～金曜日 8:30～17:30

TEL 0276 (57) 8210

土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始はお休みです

FAX 0276 (57) 8215

しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人 アルカディア ニュースレター委員会

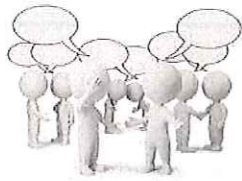
ほんぶ 本部(ふらっと)

じぎょうしょ  
アルカディア グループホーム事業所

平成28年7月24日に開催されたシンポジウム《障がい者が安心して暮らせる街づくりを市民とともに考える》にグループホーム事業所から利用者・職員合わせて70名近くが参加しました。

シンポジウムは2部構成で行われ、3障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)の当事者が第1部ではシンポジストとして体験談等を、第2部ではフリートーク形式で生活のしづらさ等についての座談会となりました。

参加した利用者さんに率直な感想を聞いてみました!!



- ・ 内容がよく分からなかった
- ・ 自分に当てはまる場所があったので良かった
- ・ 調子が悪くなって休みたかったが休憩室がなかった
- ・ 暑かった
- ・ 人の体験談聞いても仕方ない。専門家の話を聞きたかった
- ・ 参加できてよかった



プラスの意見があればマイナスの意見有ですが、本音で語ってくれた利用者さんに感謝!!  
少しでも多くの方に「良かった、また参加したい」と言って頂けるように、これらの貴重な意見を参考にしながら改善をしていき、次につなげて行ければ良いなと思いました。

平成28年7月15日に太田市本町の「長沢荘」が閉鎖となりました

閉鎖に伴い、定員が90名→85名となりました

お知らせ

空き情報

現在、多くの申し込みを頂いております。試行外泊も数名の方が行っており、今の所ご案内できる部屋がない状況ですが見学・申し込みは随時受け付けております。

社会福祉法人アルカディア グループホーム事業所  
群馬県太田市大島町386-3 TEL/FAX:0276-25-3500

群馬県精神障害者援護寮

はばたき

障がい者が安心して暮らせる街づくりを市民とともに考える

平成28年7月24日 地域で生活する上での楽しさや大変なこと、どんな支援を望むのかなどを当事者参加型で話してもらったことを目的としてシンポジウム「障がい者が安心して暮らせる街づくりを市民とともに考える」を開催しました。シンポジウムは2部構成で行い、第1部のシンポジウムでは身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の当事者やピアサポーターがシンポジストとしてピアの活動やこれまでの自分の生活について語り、第2部の座談会では来場者も参加して地域での移動手段・仕事・結婚の3本柱でフリートークを行い様々な当事者との意見交換が行われました。

はばたきのメンバーさんにも参加いただきましたので感想を聞いてみました。



感想にご協力頂いてありがとうございました。

今回初めての開催にも関わらず多くの皆様に参加して頂きました。

今後もメンバーさんを含め当事者の方々が住みやすくするためにはどうしたら良いか、そのためにはまずは当事者の皆さんとの関わりを通して意見や声に耳を傾けていきたいと考えています。



メンバーさんの感想

- ピアや当事者の意見や話が聞けてよかった。
- 3障がい者が共に住みやすい街づくりをして欲しいと思った。
- 参加者が当事者や関係者ばかりだった為、テーマと少しずれているように感じた。
- 知的障がい者・身体障がい者・精神障がい者が一同に集いシンポジウムを行う事は大変、意義のあるものだと感じた。

アンケートやメンバーさんからの感想ではその他にも「勉強になった」「当事者の声が聞けて良かった」などあり中には「こんな企画を」「もっとこうしたら」と参加者の皆様から多くの意見を頂きました。

これを受けて、当事者の多くの意見を参考にさせて頂くと共に、その声を当事者自身が発信できる場を関係者だけでなく地域住民にも向けて作る事が必要と考えます。当事者が主体的な生活を送れるよう今後も上記で挙げた取り組みをスタッフ全体で意識して行いたいと考えています。

空き情報

入居：皆様のおかげで多くのご連絡を頂いております。

体験については待機者多数の為、お時間を頂く事になってしま

いますが、ご相談・お問い合わせは随時お受けしております。

通所：空きが4名分あります。

通所であればスムーズに体験、通所開始が可能です。

問合せ先

群馬県精神障害者援護寮「はばたき」

指定管理者 社会福祉法人アルカディア

TEL 0270-63-1860

FAX 0270-63-1861

見学受付担当 廣澤